

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

船橋市の主権者教育

本市では、船橋市教育大綱における特に留意する取組の一つとして「主権者教育の推進」を掲げています。将来、社会の中で協調し自立できる子供を育成するため、国や地域社会の問題を自らの問題として捉え、考える力、聞く力を育み、主権者としての自覚と責任感を培う教育を進めています。今号では、本市における主権者教育の主な取組を紹介します。

令和4年度の各学校における実践

前原小学校

5年生は、食料問題について考えるため、「食」をテーマにしました。畑の開墾から始めて、様々な野菜づくりを実際に体験することで、消費者の求める安くて形の良い野菜を作るには、大変な労力が必要であることに気づきました。そして、それは持続可能な「食」なのかという疑問をもち、考えを深めました。



高根中学校

生徒総会では、議題の中で校則について取り上げました。生徒会本部役員を中心に、現在の校則について見直しを図りました。その提案に対し、全校生徒で意見や質問を考え、高根中学校の主権者として、ルールを作ることや守ることについて考えました。



宮本小学校

実際の選挙に近い形で模擬選挙を実施しました。子供たちは「学年イベントをしよう」というテーマで、候補者に扮した担任5名による演説を聞いて、投票を行いました。子供たちは、真剣に悩みながら投票していました。



投票の結果「体育祭」が選ばれました。12月に3時間かけて行われた体育祭は、クラスごとの団結が感じられ、涙あり笑いありの展開になりました。自分たちで選んだからこそ、本気で取り組むことができ、子供たちの心に残るものになりました。

主権者教育研究委員会

身近な地域や船橋市をテーマにした実践事例を作成しています。事例は、小学校3年生から中学校3年生の7年間にわたり、発達段階に合わせた内容となっており、総合的な学習の時間で活用することができます。

学年	テーマ	単元名	領域
小3	船橋ってどんなまち？	自分たちの船橋かるたを作ろう	地域理解
小4	船橋タイムスリップ	ばか園おどりのひみつ	郷土愛
小5	すごい船橋！	船橋市の農業をPRしよう	地域理解
小6	もっと船橋	わたしたちのくらすまち	社会参画
中1	おいでよ船橋	船橋地域観光大使	郷土愛
中2	こども未来会議室	船橋の未来にたねをまこう	社会参画
中3	船橋SDGs	テーマ別学習「食品ロス」	社会参画

(令和3年度 作成資料)

主権者教育の推進研修

市立小・中・高等・特別支援学校の校長及び校内推進者を対象に、主権者教育の研究及び実践を推進することを目的として、総合教育センターにて研修が行われています。令和4年度は、主権者教育に係る講話、研究奨励校の実践例や主権者教育研究委員会の取組を紹介しました。具体的な実践例を通して、主権者教育をどう推進していけばよいか理解を深めることができました。



令和4年度 文化活動普及事業

船橋市教育委員会では、市立小・中・特別支援学校にアーティスト等を派遣する「文化活動普及事業」を実施しています。プロのアーティストを講師に迎え、子供たちが共に楽器演奏やパフォーマンスを体験することで、豊かな心や創造性を育むことを目的としています。令和4年度は、楽器演奏から書道、パフォーマンスまで、さまざまな授業を10校で実施しました。その中から、2つの授業を紹介します。

パントマイム
(身体表現)

プロダンサー・振付師であるパーツ・イシバさんを中心としたユニット「エコー・ド・トーキョー」によるパントマイムショーの実演の後、子供たちも一緒にパントマイム体験をしました。



あれ!? 壁がある！子供たちはその動きに興味津々です。



音楽に合わせて、機械仕掛けの人形のような動きの実演を行いました。



子供たちも一緒に、重いかばんを持ち上げるパントマイムに挑戦しました。

津軽三味線
(音楽)

津軽三味線奏者の小山貴将さんの演奏を聴いた後、楽器の歴史・特徴などの説明を聞き、更に楽器の構え方と奏法の指導を受けました。その後、一人ずつが津軽三味線を弾く体験をしました。



オープニング演奏は、「津軽じゃんがら節」。子供たちは力強いばさばさや音色にきづけになりました。



グループに分かれ、交代で津軽三味線を弾きました。弦を叩いたりはいたりするうちに、コツがわかってきました。



楽器の操作に慣れてくると、奏でる音色からだんだんと自信が感じられるようになりました。

令和4年度 文部科学大臣優秀教職員表彰受賞者(令和5年1月17日)

全国の国公立学校の教職員組織で、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げた者として、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した方々を紹介いたします。



棚橋 寛子
船橋小学校 教諭
【外国語(英語)科教育の推進】



土田 礼
芝山西小学校 養護教諭
【職務の改善及び推進】



増満 ゆかり
七林中学校 教諭
【音楽科教育の推進】



渡邊 美紀
三田中学校 主査
【学校事務の改善及び推進】

わが校の給食自慢レシピ ニ宮小学校編
『キャロットゼリー』



材料(4人分)

にんじん…………… 1/4本(40g)
水…………… 1/2カップ(100cc)
粉寒天…………… 1g
上白糖…………… 大さじ2(18g)
オレンジジュース…………… 大さじ2と1/2(38g)
白ワイン…………… 小さじ2/3(3g)
60ccゼリーカップ…………… 4個

作り方

- ① にんじんは、茹でて軟らかくした後、水を加えながらミキサーにかけて、ペースト状にする。
- ② ①と粉寒天、上白糖を鍋に入れて、火にかけ沸騰させる。
- ③ 粉寒天と上白糖が煮溶かせたら、オレンジジュース、白ワインを入れて、アルコールをとばし、火を止める。
- ④ カップに注ぎ入れ、粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やし固める。



レシピ紹介

「船橋にんじん」は船橋自慢のブランド野菜です。収穫は5～6月にかけて行われ、甘みがあって食べやすいのが特徴です。にんじんにはさまざまな栄養素が含まれていますが、他の食品に比べてベータカロテンが特に多く含まれています。ベータカロテンは、体の中でビタミンAに変わり、皮膚や粘膜を健康に保つことで、免疫力の保持に貢献しています。

キャロットゼリーは、オレンジジュースを加えて、野菜が苦手な子供でもおいしく食べることができるよう工夫しています。ニ宮小学校では、食べ残しがほとんどない大人気メニューです。





児童生徒一人一人に応じた教育課程の編成を行い、「生きる力」を育む

市立船橋特別支援学校

教育目標 「こころ豊かに たくましく生きる 児童生徒の育成」

学校 HP ↓



地域における特別支援教育の拠点校

市立船橋特別支援学校は、知的障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を実施しています。船橋市内を通学区として、市内の児童生徒が通学してきます。そのため、スクールバスを9台配備し、通学の便宜を図っています。これまで蓄積してきた専門的な知識や技能を生かし、特別支援に関する教育相談に対応しています。幼稚園・保育所・認定こども園等の保育教育施設や小・中・高等学校、関係機関との連携を深め、市内の特別支援教育の拠点校としての役割を担っています。

小学部（高根台校舎）

小学部の生活は、日常生活の指導、自立活動、体育、生活単元学習、音楽、図画工作などから構成されています。学校生活に見通しがもちやすいように、毎日の流れをほぼ同じにし、帯状の週日課にしています。子供たちが、自立的・主体的に取り組めるよう工夫しています。（低学年）

時間	月	火	水	木	金
8:35	日常生活の指導（着替え・係活動・朝の会）				
9:35	自立活動（課題学習）				
10:15	体育／自立活動（身体の動き）				
10:55	日常生活の指導（着替えなど）				
11:10	生活単元学習				
11:55	日常生活の指導（給食・昼休み）				
13:15	音楽／図工／自立活動／生活単元学習				
13:50	日常生活の指導（着替え・帰りの会）				

下校 14:30

日常生活の指導

着替え、食事、係活動や朝の会など日常生活に関わる活動を行います。

朝の会では、1日の予定を確認し、見通しがもてるようにします。



自立活動

一人一人に合わせた内容の課題を自分で進める「自立課題」を中心に取り組んでいます。



「色や形の弁別」「マッチング（型はめ）」など、いろいろな課題があります。



教職員の手作り教材も多く使われています。

自立課題だけでなく、個別の学習にも取り組んでいます。



視覚的な支援がたくさん

各教室では、言葉以外のコミュニケーション手段として、絵や写真のカードなどが活用されています。写真カードを先生に渡し、行き先を伝える子もいます。



教職員は、子供たちが理解しやすいように、手話や動作表現を言葉と組み合わせて使っています。

中学部（金堀校舎）

中学部の生活は、日常生活の指導、自立活動、生活単元学習、作業学習、保健体育、音楽、美術、職業・家庭、総合的な学習の時間などから構成されています。

日課の中で、生活単元学習と作業学習を大きく位置づけています。

総合的な学習の時間

中学部全員で「なかま座」という一座を結成して舞台発表に取り組み、校内で行う合同発表会で披露しています。今年度もソーラン節や荒馬など伝統的な踊りから創作ダンスまで体をたくさん使って練習を行い、練習した成果を発表しました。



練習の様子



合同発表会

中学部・高等部も、小学部と同様に、見通しをもって生活できるよう、帯状の週日課にしています。

高等部（金堀校舎）

高等部の生活は、作業学習、保健体育、職業／家庭、総合的な探究の時間、生徒会活動などから構成されています。

総合的な探究の時間

和太鼓、球技やダンスなど9つの活動から、楽しく参加できるものを選んで、1年間取り組みます。地域の発表会に参加したり、講師を呼んで交流したりもしています。



和太鼓



球技（千葉ジェッツとの交流）

生徒会活動

生徒会本部役員会と9委員会に分かれ、学校生活をよりよくするために主体的に活動しています。本部役員は、生徒会選挙で選ばれています。



生徒会役員選挙の様子

学校祭「いちよう祭」

中学部・高等部では、毎年学校祭である「いちよう祭」を開催しています。

令和4年度は3年ぶりに校外から来場者を迎えました。作業学習で製作された製品等が販売され、どの作業班も大賑わいでした。来場者からのメッセージが貼られたボードも設置されていました。



駅伝大会

12月に行われた千葉県特別支援学校葛南地区駅伝大会に出場しました。

中学部（10km）・高等部（20km）それぞれの部に出場し、仲間とたすきをつなぎながら、日々の練習成果を発揮することができました。



自信が次のステップに挑戦する力になる

本校は、「すべての子供たちに教育を」という願いを込めて、昭和54年に開校した知的に障害のある児童生徒が通う学校です。平成19年に特別支援学校に改名、平成21年に高根台校舎（小学部）と金堀校舎（中学部・高等部）に分離しました。児童生徒の増加に伴い、平成31年に高根台校舎の校舎増築、令和元年に金堀校舎作業棟の増築を経て現在に至っています。

児童生徒一人一人のねがいや発達段階に応じた教育課程を編成し、保護者や地域の方々の理解と協力を得て、児童生徒の「生きる力」を育んでいます。

子供たちの、できること、よいところ、得意なこと、好きなことに目を向け、そして今できることをより上手に、自分から、自分のできるような支援に努めています。それが実現することで、子供たちは満足感、成就感、達成感を味わうことができます。他者から評価され、褒められ認められるようになれば、「自分ではできるんだ」という自信をもちます。その自信が次のステップに挑戦する力になります。そうしたことを繰り返すことで、子供たちは力をつけていくと考えています。

校長 兼坂 尚貴

作業学習（中学部・高等部）

作業学習では、学校卒業後の働く生活を願い、働く活動に取り組み、働く意欲や働く力を育むようにしています。作業班は、中学部に6班、高等部に10班あります。

中学部	高等部
・木工班	・縫工班
・縫工班	・窯業班
・園芸班	・農耕班
・レザークラフト班	・木工班
・生活雑貨班	・手織り班
・しいたけ班	・園芸班
	・手工芸班
	・紙すき班
	・食品加工班
	・印刷・サービス班



一人一人に合った補助具や視覚的な支援を準備し、自ら進んで作業に取り組めるよう工夫しています。

手織り班



織る順番と回数を示したボード

窯業班



木工班



組み立ての補助具

食品加工班



紙すき班



仕上がり例

農耕班



あったか冬市



作業班だより